



公益財団法人 福島県区画整理協会

発行人 / 遠藤 光一

「暑中お見舞い申し上げます。」

理事長 遠藤 光一



究極の
クールビズ

早いもので、あの東日本大震災から4年と4ヶ月が過ぎました。風評、風化といった毎日のように耳にする言葉に、ややもすれば緊張感が薄れがちになる昨今、未だ11万余の原発避難者の一番の生活基盤である住まいの造成設計に「今は非常時！」と職員一丸となって汗を流しています。

当協会では、この避難者のための復興公営住宅整備の造成設計を発注者（県）支援業務として受託し（21地区、約2,000戸）、一日も早い避難者の入居に向けて遂行し、現在まで13地区納品しているところです。これも一重に、関係機関、協力会社の理解とご支援の賜と感謝しております。

宅地に適した土地が少なく、非常時においても土地の私有財産が様々な法体系で厳密に守られている現在、新しい土地を確保することに関係機関も相当に苦労されています。一方、建設技術者、資材等の不足はもとより、設計技術者においても県内ではまかなえず、当協会も全国から応援をいただいています。

さて、7月から当協会の新年度を迎え、引き続き復興公営住宅整備を最優先に進めるとともに、今しか出来ない「震災をバネにしたふくしまの新しい復興のまちづくり」を展開するため、いわき事務所に計画課長を据えるなど浜通りの対応を強化したところです。

またポスト震災を見据え、地域の美しい町並み整備や空き屋対策などにも、都市計画区域を越えて土地の集約換地など新しい減歩を伴わない区画整理手法等を活用し、まちのリニューアルを支援してまいります。

今後とも頼られる当協会のイノベーションを積極的に進めていきたいと思えます。盛夏のみぎり、皆様にはご自愛の程お祈り申し上げます。



着々と進む復興公営住宅造成工事（当協会受託第1号大玉村横堀平地区空撮H27.4）



☆平成27年度まちづくりの初任者講習会を行いました☆

「街区デザイン」「環境産業共生型の復興まちづくり」「土地区画整理事業の仕組み」「沿道整備街路事業のしくみ」「地籍整備型土地区画整理事業の仕組み」について、10市町村17名の方々に受講いただきました。受講後に提出頂いたアンケートを参考に、来年も実施の予定です。



平成27年6月25日（木）当協会5階会議室

☆新地町の先行するまちづくりを応援しています☆

浜通りにおいて復興が一步進んでいる新地町は、当協会でコーディネート業務及び被災市街地復興土地区画整理事業のお手伝い（4名常駐）をさせていただいております。新地町周辺地区のまちづくり進捗状況にあわせて、相馬港において建設が進められております液化天然ガス（LNG）基地の工事も、公益事業として（無人ヘリによる動画等）協会のHPへ随時アップする予定です。



☆「だいすきなふくしまの街かど」写真コンテスト456点の多数☆ ご応募ありがとうございました



写真コンテストの審査風景

平成27年6月26日（金）郡山市のホテルハマツにおいて5名の入賞者（奨励賞と佳作を除く）の皆さんに表彰式を開催しました。

各審査員より入賞者へ表彰状と記念品を贈呈し、入賞作品への感想をいただきました。また、入賞者の方々から喜びのコメントをいただき、撮影に苦労した事や工夫した点などの秘話を伺いながら、和やかに進められました。

今回入賞された皆様、本当におめでとうございます。また来年のご応募お待ちしております。年末には当協会のカレンダーとして配布いたします。

編集後記

地域づくり活動支援事業の27年度分受付も始まりましたので、県内各地で広く活用して頂けたらと良いなと考えています。

まちづくりのいろんなこと、いつでもご相談ください。

梅雨が明けると夏本番！冷たいものばかり欲しくなりますが、ヨガの教えでは真夏でも常温もしくは温かいものを頂くようにすると、代謝が上がり体が冷えなくなり夏バテ防止になるとの事です。宜しければお試しあれ(^^)（南口）



発行 / (公財) 福島県区画整理協会

〒963-8014

郡山市虎丸町6番16号

あいおいニッセイ同和損保郡山第一ビル

TEL : 024-921-5000 / 921-5027

FAX : 024-921-8383

URL / <http://www.fukushima-kukaku.or.jp>

いわき事務所（新住所）

いわき市平字愛谷町1丁目7番5号

TEL : 0246-68-6631